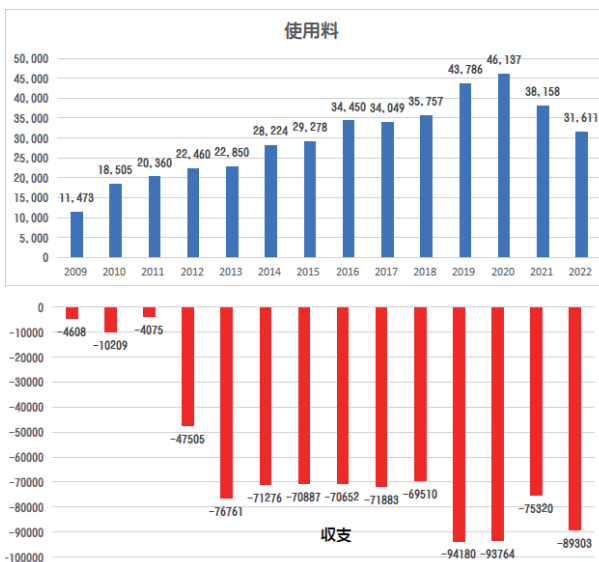


# 西港整備は市にとって過大投資です

**ガントリークレーンは一度も黒字になったことがない**

西港には、外国とのコンテナ貿易に使うコンテナ荷役機械・ガントリークレーンがあります。借金をして造り、毎年の運営費の黒字から借金を返す仕組みになっています。



左の表がガントリークレーンの収入である使用料と、経費と借金払いをした後の収支のグラフです。ガントリークレーンは使い始めて以来、ただの一度も黒字になったことはありません。来年で一応、借金払いは終わり、

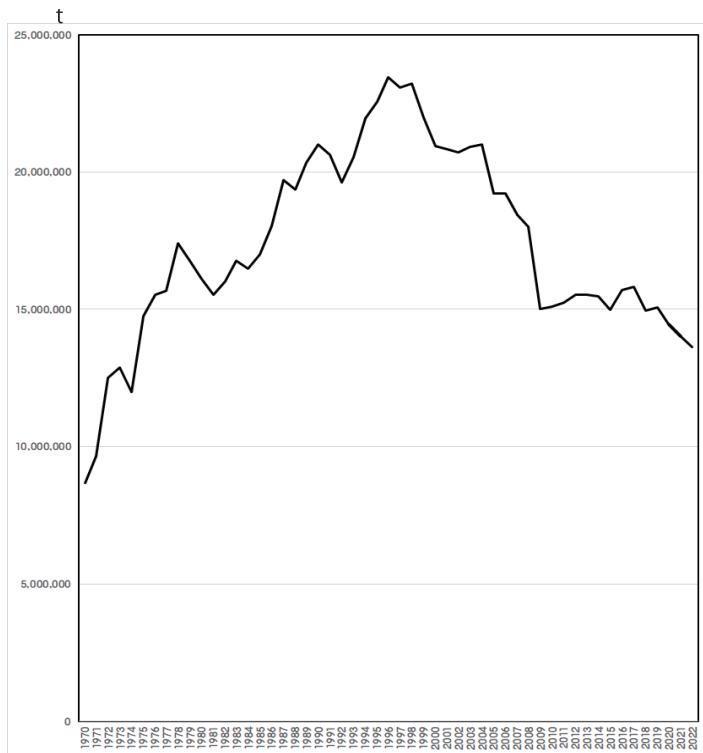
収支は拮抗することになります。が、これまでたまつた累積赤字が、8・5億円を回収することは厳しい情勢です。なにより、コンテナ船の減便が重荷になっています。



## 西港造成地と貯木場埋立地

西港は、ふ頭などを埋め立て、それを売却して収益の一部にしています。売れていないところは貸し付けに回すなどしてありますが、4年度末でも3万2千㎡の大区画1か所が未利用になっています。

さらに困っているのが、釧路町のセチリ太地区にある水面貯木場の埋立地です。大半の土地



が未利用です。当然、造成費用回収の見通しも立っていません。こうした問題の背景には、西港そのものが、身の丈を超えた大型開発になっていることがあります。

## 貨物量は激減

右のグラフが釧路港の貨物取扱量の推移です。4年の貨物取扱量は1361万トン。最高は1996年2346万トンですか

ら42%減。現計画の目標値を300万トンも下回っています。それなのに、4年度も西港整備の国直轄港湾工事に、多額の負担金を市は支払っています。

## 西港の国直轄港湾工事に對する市の負担金

島防波堤	85,473
新西防波堤	76,524
-14m泊地浚渫	462,651
西防波堤改良	15,150
合計	639,798

単位 千円

